

園芸市で電信通り活性化

帯広市の電信通り商店街振興組合(長谷渉理事長、32店)は27日から毎週金、土、日曜日に「花ば咲かせよ園芸市」を開催する。国の補助を受けた商店街活性化事業のひとつで、障害者や高齢者もスタッフを務めて花の苗や肥料などを販売する。

園芸市は27日から最終日6月10日までの毎週末の計21日、午前10時から午後2時まで、べんぞう商店駐車場(東2南6)で開催される。障害者授産施設・帯広ケアセンターの通所者が育てたハンジーや、ビオラなどの花の苗、肥料などの園芸用品を販売する。昨年11月に同商店街にオープンした傾聴所「こころ」の利用者らが当日の販売スタッフを務める。

5月20日は特別イベント

あすから毎週末 障害者や高齢者もスタッフに

園として園芸市に加えて歩道への花の植栽と街路灯への花かご設置、畜大牛乳の試飲会などを行う。

同振興組合は、10年以上前から各商店が店先にプランターを置いたり、不定期な青空園芸市を開いたりして、花と緑を取り入れた街づくりを励んできた。昨年度スタートした国の補助を受けた商店街活性化事業として、本年度から園芸市を定期的に開催することを決めた。

また、高齢者が住みやすく、障害者と共生する地域づくりを指しており、今回の園芸市も、社会福祉法人などの協力で高齢者や障害者が参加する方法で運営する。

(山本孝人)

27日から始まる電信通り商店街「花ば咲かせよ園芸市」の告知ポスター

